

平成19年12月期 第3四半期財務・業績の概況

平成19年11月12日

上場会社名 株式会社リサ・パートナーズ 上場取引所 東証一部
 コード番号 8924 URL <http://www.risa-p.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井無田 敦
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略部長 (氏名) 柳 嘉夫 TEL (03) 5573-8011

(百万円未満切捨て)

1. 平成19年12月期第3四半期の連結業績 (平成19年1月1日 ~ 平成19年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年12月期第3四半期	16,540	55.3	5,810	74.3	4,877	97.5	3,123	115.3
18年12月期第3四半期	10,647	117.8	3,334	92.8	2,470	61.5	1,450	71.6
18年12月期	16,607	—	6,490	—	5,203	—	3,030	—

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年12月期第3四半期	11,376	77	10,262	26
18年12月期第3四半期	11,975	20	9,981	46
18年12月期	24,407	44	20,697	61

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
19年12月期第3四半期	111,219		27,632		21.7		86,407	09
18年12月期第3四半期	78,768		17,620		22.3		132,412	15
18年12月期	81,130		19,367		23.9		144,417	79

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
19年12月期第3四半期	△963		△17,003		26,647		17,390	
18年12月期第3四半期	△32,819		△7,553		45,288		10,944	
18年12月期	△32,859		△10,516		45,708		8,362	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金									
	第1四半期末		中間期末		第3四半期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
18年12月期		—		—		—	2,000	00	2,000	00
19年12月期 (実績)		—		—		—	—	—		
19年12月期 (予想)		—		—		—	1,000	00	1,000	00

3. 平成19年12月期の連結業績予想 (平成19年1月1日 ~ 平成19年12月31日) 【参考】

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	27,000	62.6	11,400	75.7	10,000	92.2	6,000	98.0	21,511	16

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無
 (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来の記述等に関するご注意)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在で入手可能な情報に基づいております。実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。上記の業績予想に関する事項については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

(その他特記事項)

当社は、平成19年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。そのため平成18年12月期第3四半期、平成18年12月期の1株あたりの各数値は、株式分割前の数値となっております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

①事業全般の概況

当第3四半期（平成19年1月1日～平成19年9月30日）における我が国経済は、企業収益が高水準で推移する中、設備投資も引き続き増加基調となりました。また、個人消費も底堅く推移するなど、景気はゆるやかに回復する状況となりました。

当社グループの事業領域である金融マーケットにおいては、景気回復に伴う金融機関の財務基盤が改善傾向にあることや、地域金融機関における業界再編の動き等を背景に活発な不良債権処理が実施されました。また、不動産マーケットにおいても、好調な企業業績を背景にオフィス需要が増加していることから、東京をはじめとした大都市圏において不動産価格上昇の動きが見られ、不動産取引も活発に行われました。

このような事業環境の中、当社はプリンシパル投資事業、ファンド事業、インベストメントバンキング事業の各セグメントが順調に拡大しております。なかでも平成19年8月には、当社グループの投資銀行としての豊富な実績が評価され、西日本シティ銀行及びその連結子会社である長崎銀行と戦略的な業務提携を締結しました。さらに、平成19年9月には長崎銀行に対する優先株式出資を実施しました。財務面においては、コミットメントライン等、金融機関からの資金調達枠を大幅に拡大し、当社グループの旺盛な投資機会に対してより機動的に資金調達を可能にする体制が整いました。

これらの結果、売上高は16,540百万円（前年同期比55.3%増）、営業利益は5,810百万円（前年同期比74.3%増）、経常利益は4,877百万円（前年同期比97.5%増）、四半期純利益は3,123百万円（前年同期比115.3%増）と大幅な増収・増益を達成することができました。

②セグメント毎の概況

（プリンシパル投資事業）

プリンシパル投資事業では、不動産、貸付債権、企業（株式）等に対して自己勘定による投資を行っております。

貸付債権投資は、昨年3月に貸付債権を取得した沖縄県最大手の建設会社である株式会社國場組の再生支援に取り組んだ結果、再生計画が想定以上に進んだことから一部前倒しでの回収益計上するなど順調に収益を獲得することができました。また、貸付債権の購入についても金融機関の中間決算期末月である9月にかけて当初想定を越える債権を購入することでできたことから順調に資産規模も拡大しております。

一方、不動産投資においても、刻々と変化するマーケットの環境にあわせた売却を行い、順調に収益を獲得するとともに、リスクリターンを的確に捉えた物件の取得することが出来ました。

その結果、売上高は11,545百万円（前年同期比58.0%増）、営業利益3,465百万円（前年同期比109.0%増）と大幅な増収増益となりました。

（ファンド事業）

ファンド事業では、グローブ・インターナショナル・パートナーズ（以下、「グローブ」）と展開している大型不動産共同投資、全国の地域金融機関と連携して取り組んでいる企業再生ファンド、当社グループのソリューション機能を統合的に活用した企業価値向上ファンドであるソリューションファンドを手掛けております。

不動産共同投資においては、順調に投資残高を積上げること成功し、これまでの投資累計額は約2,158億円（平成19年9月末、コミットメントベース）にまで拡大しました。一方、投資物件の出口処理も極めて順調に進捗しております。

企業再生ファンドについては、引き続き地域金融機関とのリレーションが順調に拡大しております。

平成19年3月にコミット総額を218.5億円に拡大した「リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド」については、ファンド事業の中核として順調に投資を拡大するとともに、当ファンドを通じ、西日本シティ銀行と地域特化型の「九州コーポレート・ソリューション・ファンド」をコミット総額30億円で組成したことにより、投資機会をさらに拡大することができました。

当第3四半期においては、不動産や貸付債権に対するファンド投資からの収益獲得が順調に進捗するとともに、投資残高の増加によりアセットマネジメントフィーも伸長しました。その結果、売上高2,437百万円（前年同期比62.6%増）、営業利益1,753百万円（前年同期比75.5%増）と増収増益を確保することができました。

（インベストメントバンキング事業）

インベストメントバンキング事業は、M&Aや企業再生コンサルティング等のフィナンシャル・アドバイザー業務やサービシング（債権管理回収）、デューデリジェンスを手掛けるとともに、これら不動産と金融に関わる投資やアドバイザー業務のノウハウを統合的に活用してソリューション事業を手掛けております。

当第3四半期においては、インベストメントバンキング事業の各業務が堅調に推移しました。特にフロンティア・マネジメント株式会社がアドバイザー案件を順調に獲得し、収益に寄与しはじめたことから、売上高3,335百万円（前年同期比61.0%増）、営業利益1,574百万円（前年同期比14.9%増）と増収増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ30,089百万円増加し、111,219百万円となりました。これは主に不動産共同投資ファンドへの出資やエクイティ投資の拡大により投資有価証券が12,244百万円増加したこと、自己勘定にて長期保有を前提とする不動産を取得した結果、有形固定資産が4,916百万円増加したこと及び現金及び預金が9,036百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ21,825百万円増加し、83,587百万円となりました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の発行により社債が9,259百万円増加したこと及び長期借入金が11,474百万円増加したことによるものであります。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、投資有価証券、有形固定資産の取得による支出やファンドへの出資による支出等があったものの、税金等調整前四半期純利益を5,063百万円計上し、かつ転換社債型新株予約権付社債の発行や長期借入による資金調達等により前連結会計年度末に比べ9,027百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末には17,390百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は963百万円（前年同期比97.1%減）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益5,063百万円があったものの、買取債権の増加2,841百万円や法人税等の支払3,387百万円等があったためであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は17,003百万円（前年同期比125.1%増）となりました。

これは主に投資有価証券の取得による支出7,873百万円や匿名組合出資金等の拠出による支出5,540百万円、有形固定資産の取得による支出4,477百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は26,647百万円（前年同期比41.2%減）となりました。

これは主に短期借入金の減少5,411百万円があったものの、長期借入金の純増16,912百万円や転換社債型新株予約権付社債の発行による収入12,323百万円があったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

次四半期においても引き続き良好な事業環境が予想され、当社グループのプリンシパル投資事業、ファンド事業、インベストメントバンキング事業のすべての事業部門で順調に業務の拡大が見込まれます。

なお、ファンド事業において特定の大型物件の売却による投資利益や成功報酬が当初予想を超えたことや大型のアドバイザー案件の成約によるフィー収益の獲得等により営業利益、経常利益、当期純利益ともに従前公表しておりました平成19年2月9日付の業績予想を大幅に超える見込みとなったため平成19年11月1日付で業績予想を修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

該当事項はありません。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

科目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	10,963	17,447	6,483		8,411
2. 受取手形及び 売掛金	628	1,083	455		1,095
3. たな卸資産	13,705	15,215	1,510		15,466
4. 買取債権	36,097	37,916	1,819		35,075
5. 繰延税金資産	168	248	79		173
6. その他	598	2,835	2,236		2,353
貸倒引当金	△37	△28	8		△36
流動資産合計	62,125	74,719	12,594	20.3	62,539
II 固定資産					
(1) 有形固定資産					
1. 建物及び構築 物	1,325	4,686	3,360		2,297
2. 土地	3,577	6,402	2,825		3,906
3. その他	393	470	76		437
有形固定資産 合計	5,295	11,558	6,263	118.3	6,642
(2) 無形固定資産					
1. ソフトウェア	21	163	142		27
2. 連結調整勘定	268	—	△268		—
3. のれん	—	307	307		249
4. その他	17	40	23		98
無形固定資産 合計	306	510	203	66.5	375
(3) 投資その他の 資産					
1. 投資有価証券	8,967	21,503	12,536		9,259
2. 長期貸付金	—	1,712	1,712		1,337
3. 繰延税金資産	196	269	73		267
4. その他	1,878	944	△933		708
投資その他の 資産合計	11,041	24,429	13,388	121.3	11,573
固定資産合計	16,643	36,499	19,855	119.3	18,590
資産合計	78,768	111,219	32,450	41.2	81,130

科目	前年同四半期末 (平成18年12月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成19年12月期 第3四半期末)	増減		(参考) 前期末 (平成18年12月期末)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 支払手形及び 買掛金	7	58	51		10
2. 短期借入金	26,200	29,082	2,882		28,586
3. 未払法人税等	844	1,190	346		2,089
4. 賞与引当金	151	316	165		—
5. その他	3,232	3,402	169		2,376
流動負債合計	30,436	34,050	3,614	11.9	33,062
II 固定負債					
1. 社債	5,690	14,789	9,513		5,530
2. 長期借入金	24,586	34,100	9,099		22,626
3. 退職給付引当金	4	3	△0		—
4. その他	431	642	211		543
固定負債合計	30,712	49,536	18,823	61.3	28,699
負債合計	61,148	83,587	22,438	36.7	61,762
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	6,766	7,817	1,051		6,852
2. 資本剰余金	6,903	7,955	1,051		6,990
3. 利益剰余金	3,841	8,276	4,435		5,421
4. 自己株式	△1	△1	—		△1
株主資本合計	17,509	24,047	6,537	37.3	19,263
II 評価・換算差額等					
1. その他有価証 券評価差額金	71	47	△23		64
評価・換算差額等合 計	71	47	△23	△33.1	64
III 少数株主持分	38	3,536	3,497	9,037.1	40
純資産合計	17,620	27,632	10,012	56.8	19,367
負債、純資産合計	78,768	111,219	32,450	41.2	81,130

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	増減		(参考) 前期 (平成18年12月期)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率 (%)	金額 (百万円)
I 売上高	10,647	16,540	5,892	55.3	16,607
II 売上原価	5,429	6,926	1,496	27.6	7,606
売上総利益	5,217	9,613	4,395	84.2	9,001
III 販売費及び一般管理費	1,883	3,802	1,919	101.9	2,511
営業利益	3,334	5,810	2,476	74.3	6,490
IV 営業外収益	259	221	△37	△14.4	182
V 営業外費用	1,123	1,155	32	2.9	1,468
経常利益	2,470	4,877	2,407	97.5	5,203
VI 特別利益	0	240	240	120,311.6	0
VII 特別損失	5	26	21	411.7	5
匿名組合損益分配前 税金等調整前四半期 (当期) 純利益	2,465	5,092	2,626	106.6	5,198
匿名組合損益分配額	10	28	18	178.5	20
税金等調整前四半期 (当期) 純利益	2,454	5,063	2,608	106.3	5,177
法人税、住民税及び 事業税	1,305	2,356	1,050	80.5	2,541
法人税等調整額	△306	△65	240	78.6	△377
少数株主利益又は少 数株主損失(△)	5	△350	△355	—	△17
四半期(当期) 純利 益	1,450	3,123	1,672	115.3	3,030

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成18年12月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期 (当期) 純利益	2,454	5,063	5,177
2. 減価償却費	65	186	101
3. 長期前払費用償却額	10	14	21
4. 固定資産除却損	—	26	5
5. 連結調整勘定償却額	57	—	—
6. のれん償却額	—	100	76
7. 持分法による投資利益	△211	△107	△136
8. 匿名組合分配損益	—	△416	△1,200
9. 投資有価証券売却益	—	△230	—
10. 貸倒引当金の増加・減少 (△) 額	24	△7	22
11. 賞与引当金の増加額	151	316	—
12. 退職給付引当金の増加・ 減少 (△) 額	△5	△2	△9
13. 受取利息及び受取配当金	△22	△18	△7
14. 支払利息	659	888	916
15. 株式交付費	—	—	43
16. 売上債権の増加 (△) ・ 減少額	259	83	△207
17. たな卸資産の増加 (△) ・ 減少額	△6,614	157	△8,374
18. 買取債権の増加 (△) ・ 減少額	△28,508	△2,841	△27,486
19. 仕入債務の増加・減少 (△) 額	0	△13	3
20. その他	825	114	366
小計	△30,851	3,315	△30,685
21. 利息及び配当金の受取額	4	8	5
22. 利息の支払額	△663	△899	△910
23. 法人税等の支払額	△1,308	△3,387	△1,268
営業活動によるキャッシュ・ フロー	△32,819	△963	△32,859

	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成18年12月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	△3,442	△4,477	△4,775
2. 投資有価証券の取得による支出	△569	△7,873	△669
3. 投資有価証券の売却による収入	—	240	—
4. 関係会社株式の取得による支出	△115	△13	△165
5. 出資金の拠出による支出	△40	0	△40
6. 匿名組合出資金等の拠出による支出	△5,049	△5,540	△5,332
7. 匿名組合等からの分配による収入	2,001	1,396	2,339
8. 匿名組合出資金の受入れによる収入	300	—	—
9. 貸付けによる支出	△2,033	△2,263	△3,690
10. 貸付金の回収による収入	1,411	2,024	1,411
11. その他	△17	△496	406
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,553	△17,003	△10,516
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金純増減額	15,295	△5,411	15,858
2. 長期借入による収入	24,772	24,995	26,172
3. 長期借入金の返済による支出	△2,266	△8,083	△3,803
4. 社債の発行による収入	—	12,323	—
5. 社債の償還による支出	△660	△724	△660
6. 株式の発行による収入	8,309	5	8,279
7. 自己株式の取得による支出	△1	—	△1
8. 配当金の支払額	△163	△265	△163
9. 少数株主からの払込による収入	2	3,965	27
10. その他	—	△155	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	45,288	26,647	45,708

	前年同四半期 (平成18年12月期 第3四半期)	当四半期 (平成19年12月期 第3四半期)	(参考) 前期 (平成18年12月期)
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)
IV 現金及び現金同等物の増加額	4,915	8,680	2,333
V 現金及び現金同等物の期首残高	6,028	8,362	6,028
VI 新規連結に伴う現金及び現金同等物の期首残高	—	347	—
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	10,944	17,390	8,362

(4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前年同四半期 (平成18年12月期第3四半期)

	プリンシパル 投資事業 (百万円)	ファンド事業 (百万円)	インベストメ ンバンキング 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	7,305	1,499	2,072	10,877	(230)	10,647
営業費用	5,647	500	701	6,849	463	7,313
営業利益	1,658	999	1,370	4,028	(694)	3,334

当四半期 (平成19年12月期第3四半期)

	プリンシパル 投資事業 (百万円)	ファンド事業 (百万円)	インベストメ ンバンキング 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	11,545	2,437	3,335	17,319	(778)	16,540
営業費用	8,080	684	1,760	10,525	203	10,729
営業利益	3,465	1,753	1,574	6,793	(982)	5,810

(参考) 前期 (平成18年12月期)

	プリンシパル 投資事業 (百万円)	ファンド事業 (百万円)	インベストメ ンバンキング 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	11,055	3,356	2,700	17,112	(504)	16,607
営業費用	7,969	773	974	9,717	400	10,117
営業利益	3,085	2,583	1,725	7,395	(905)	6,490

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期 (自平成18年1月1日至平成18年9月30日) 及び当第3四半期 (自平成19年1月1日至平成19年9月30日) において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。